



令和 6 年 3 月 26 日発行

 富士五湖消防本部管理課 〒403-8599 山梨県富士吉田市松山5-10-13 TEL0555-22-0119(代表)
 ホームページ: <http://www.mfi.or.jp/fg-kanrika/>

第16号



【各種行事】

★1月26日 文化財防火デー 月江寺において防火訓練



昭和 24 年に、既存する世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が損傷したことに基き、文化財保護法が制定され、毎年 1 月 26 日が文化財防火デーとなっています。

今年、富士吉田市では月江寺にて防火訓練が行われ、富士吉田消防署も訓練参加しました。

★1月29日 全国救急隊員シンポジウム 2024 で発表前の予演会



西桂分遣所の加賀美賢消防司令補が 2 月 1 日・2 日に名古屋市で開催される第 32 回全国救急隊員シンポジウム名古屋 2024 にて当消防本部の代表として発表します。この日は発表前の予演会を行いました。

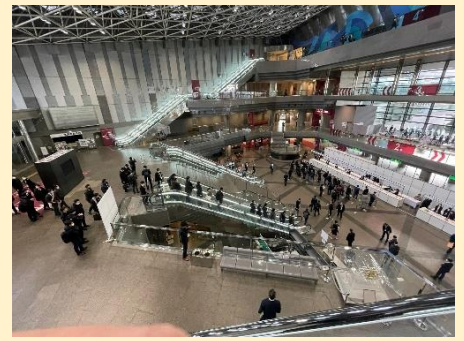
★1月30日 緊急消防援助隊派遣報告および鹿児島市視察研修報告



令和 6 年能登半島地震の緊急消防援助隊派遣報告および鹿児島市危機管理局・鹿児島市消防局視察研修報告（桜島噴火対策）を管理職に警防課員が行いました。



★2月1日 第32回 全国救急隊員シンポジウム名古屋2024で発表



名古屋国際会議場で、第32回全国救急隊員シンポジウム名古屋2024が開催され、加賀美賢司令補が「机上訓練の成果と課題」について発表してきました。

★2月6日 FMふじごこで収録



FMふじごこで、警防課救助担当が令和6年能登半島地震により被災した石川県へ、緊急消防援助隊山梨県大隊として出場した内容をお話しました。

番組：トワイライトふじごこ

2月9日 午後4時から午後6時

2月12日 午後9時から午後11時

★2月7日 令和5年度防火ポスターコンクール審査会を実施



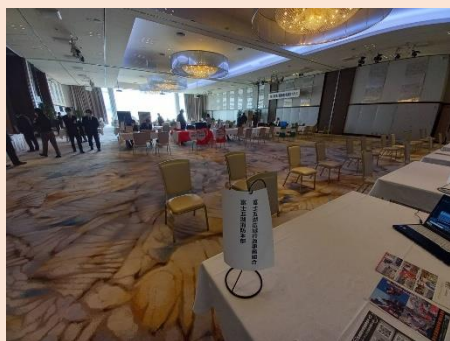
小学校21校、中学校12校から650点の防火ポスターの応募があり、厳正に審査を実施しました。表彰式は2月27日に行われます。

★2月7日～9日 患者等搬送乗務員講習会



当消防本部では初めての開催となる患者等搬送乗務員講習会を3日間（3日目は上級救命講習会と合同）実施しました。この講習は、患者等搬送用自動車に同乗し、患者等搬送事業に従事する方に必要な応急手当等の基礎知識および技術を習得することを目的としています。

★2月8日 富士北麓地域合同企業ガイダンスに参加



富士吉田市役所商工振興課主催の富士北麓地域合同企業ガイダンス（就職説明会）に参加しました。

★2月8日, 9日, 14日, 16日 新規職員に対する消防署長査閲（救急訓練）



富士吉田署



河口湖署



新規職員研修の集大成として火災想定訓練を消防長に査閲していただきました。その後、所属に配属され火災等に出場している傍ら、救急訓練を継続して実施し、想定訓練を消防署長に査閲していただきました。

★2月9日 上級救命講習会を実施



毎年1回開催する上級救命講習会（8時間講習）を実施しました。受講生の皆様、長時間お疲れさまでした。救命講習のお問い合わせは救急課：0555-22-4430 までお願いします。

★ 2月13日 指令課・救急課合同の災害時対応受援訓練



指令課と救急課が、大規模災害時等に対応するための救急対応に特化した合同の受援訓練を実施しました。

★ 2月18日 特別救助隊員資格試験（二次試験）を実施



1月23日に実施した一次試験を突破した4名の試験者が、二次試験（想定訓練）を実施しました。

★ 2月15日 富士山近隣消防本部警防主管課長会議の開催



富士山近隣においても南海トラフ地震や富士山噴火等の大規模な災害発生が懸念されており、平時に近隣消防本部と災害時における対応及び連携活動等の調整は早急な重要課題であると考え、当消防本部と隣接する富士宮市消防本部と御殿場市・小山町広域行政組合消防本部と第1回目の合同会議を実施しました。

★ 2月16日 普通救命講習会（乳幼児・小児）を開催



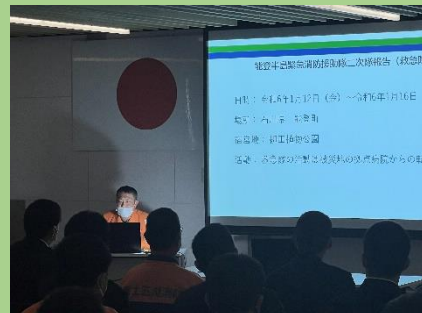
普通救命講習会（乳幼児・小児）を開催しました。受講生の皆さんとても真剣に講義や実技を行っていました。救命講習のお問い合わせは救急課：0555-22-4430 までお願いします。

☆2月16日 FMふじやまでの広報活動



FM ふじやまでの広報活動第 10 回目。指令課の上小澤司令補が通信指令センターについてお話ししました。
毎月第 3 金曜日の 13 時 10 分から 13 時 30 分頃に放送となります。（当消防本部管内で災害等があった場合を除く）是非、お聞きください。

☆2月16日 能登半島地震 緊急消防援助隊 活動報告会



本年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に緊急消防援助隊山梨県大隊として出動し、本派遣での活動内容、課題点また課題に対する改善策を共有し、今後の応援活動に活かすため、報告会を実施しました。

☆2月17日 富士吉田署・河口湖署合同訓練



大地震が発生した後は、建物倒壊などにより多くの方が、救助を必要とする事態が発生します。倒壊建物からの救出はとても繊細であるため、富士吉田署と河口湖署合同による瓦礫救助訓練を実施し、救助方法の確認、情報共有を行いました。

☆2月19日 山梨県消防職員意見発表会で2名が発表



消防職員意見発表会は、消防職員として日々の業務に対する課題などについて自由に発表し、消防業務に関する一層の知識研鑽や意識の高揚を図ることを目的に毎年実施しています。

富士五湖消防本部から 2 名の職員が「第 47 回山梨県消防職員意見発表会」で発表しました。
結果は、竹森開消防士が優秀賞を受賞しました。

★2月20日、21日 富士五湖広域行政事務組合議会定例会



毎年2月、8月に定例議会が行われます。富士五湖地域6市町村長と市町村議会で選挙により選出された19名の議会議員の皆様により、条例の制定や予算の決定など、消防本部の運用や行政を進める上で大切なことを決定していただいております。

★2月22日・3月21日 CATV富士五湖での広報活動



毎月富士五湖消防本部の出場状況やイベントをCATV 富士五湖のご協力のもと、お知らせしています。11月から毎週、日曜日16時30分～・22時30分、10chにてミライちゃんからのお知らせ（富士五湖消防本部）という番組で放映。

☆消防に関する広報

- 1) 今月の火災・救助・救急件数
- 2) 今月の火災原因、救助内容、救急内容
- 3) 火災、救助、救急の予防を促す
- 4) 消防の各種イベントのお知らせ
- 5) その他（消防署の仕事、消火器の説明、住宅火災警報器の説明、初期消火の仕方、女性消防士の紹介、救急救命士の役割、普通救命講習会の開催、心肺蘇生法やAEDの取り扱い説明など）

★2月22日 救急業務検討会



救急業務の検証及び救急業務等に関する技術の向上に資するため救急業務検討会を毎年度、1回以上開催しています。

★ 2月26日 山梨県消防職員意見発表会の表彰伝達式



2月19日に開催された第47回山梨県消防職員意見発表会において、竹森開消防士が優秀賞を受賞しましたので、表彰伝達式を行いました。

★ 2月27日 防火ポスターコンクール表彰式



防火ポスターコンクールの表彰式を行いました。最優秀賞2名、優秀賞8名、金賞10名、銀賞20名、銅賞30名が選ばれ、表彰式には最優秀賞者と優秀賞者の10名に代表受領していただきました。

最優秀賞者2名には3月2日に一日消防署長をしていただきます。

※3月1日～7日まで河口湖ショッピングセンターBELLにて防火ポスターが展示されます。また、広報「富士五湖」の4月号Vol.50にて、より詳細に掲載されますので、ぜひご覧ください。

★ 2月28日 令和5年度 救急救命研修所派遣のための候補者学力試験



救急救命士の国家試験を受けるためには、大学や専門学校で専門的知識を有した者、または、消防署に勤務してから救急救命士になりたい場合、救急救命研修所にて6か月間の研修を修了しないと受験資格が得られません。令和7年度に救急救命研修所へ派遣するための候補者学力試験がこの日、実施されました。

★ 3月1日 住宅火災警報器普及活動を実施



春の火災予防運動期間中に河口湖ショッピングセンターBELLにおいて、住宅火災警報器普及促進活動を実施しました。

★ 3月1日 富士山科学研究所で普通救命講習会



富士吉田消防署の職員が出張し、富士山科学研究所の職員を対象に普通救命講習会を開催しました。13名の職員の皆さんは、熱心に講義を聴講し、真剣に実技をしていました。

★ 3月2日 一日消防署長の開催



防火ポスターコンクールで最優秀賞者に選ばれました2名に一日消防署長をしていただきました。詳細は本号の「消防の仕事」に掲載しています。

★3月4日～3月8日 予防課実務研修



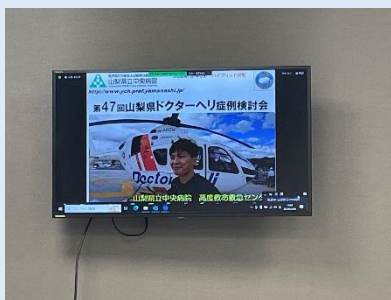
予防課実務研修は予防技術資格者を認定するために予防技術者資格者章を貸与する対象者に対して、予防関連の法令および実務等の講義や現場を経験し、査察業務や予防業務に対する意識改革を図らせ、自立した査察員の育成を目的としています。

★3月4日 移動タンク貯蔵所検査



春の火災予防運動期間中に上九一色分遣所の駐車場において富士吉田警察署と合同で、移動タンク貯蔵所の検査を実施しました。

★3月4日 ドクターヘリ症例検討会



3ヵ月に1度、山梨県立中央病院が主催するドクターヘリ症例検討会に現地派遣とオンラインで参加し、各症例を検討するとともに、ドクターヘリの有効性、必要性を毎回開催するたびに実感しています。

★3月5日 住宅火災警報器普及活動を実施



春の火災予防運動期間中に富士吉田市のQ-STAにおいて、住宅用火災警報器普及促進活動を富士吉田市消防団ふじざくら隊の皆様とともに実施しました。

★ 3 月 5 日 救急・指令業務英会話講習会の査閲及び閉講式



訓練の様子



訓練の様子



消防長からの講評

企画部長からの講評

記念撮影

昨年の 5 月から始めました救急・指令業務英会話講習の成果発表会を行いました。現場で活かせる英会話を身につけるために約 1 年かけて勉強し、その成果を富士吉田市役所の企画部長、企画部次長、市民協働推進課長、市民協働推進課課長補佐をお招きして発表しました。

★ 3 月 6 日 ホテル等へ無通告査察



春の火災予防運動中に富士河口湖町・鳴沢村のホテル等に対する無通告査察を 12 件実施しました。

★ 3 月 7 日 救急救命士の想定訓練評価



富士吉田署で、指導的立場の救急救命士が、10 年未満の救急救命士に対して、想定訓練の評価を行いました。低血糖の傷病者に対して、血糖測定とブドウ糖を投与する想定内容でした。

★ 3 月 8 日 救急自動車配車式



この度、河口湖消防署西部出張所の救急車が更新配備されました。高規格救急車として、救急救命士が十分活躍できる処置が可能な資機材が搭載されています。尊い人命を守るため、有効に活用していきます。これから最新鋭の車両に対する配車式を執り行いました。

★ 3 月 1 1 日 ドローン操縦士認定試験を実施



当消防本部が認定するドローン操縦士認定試験を実施しました。富士五湖消防本部無人航空機運用計画を定め、災害現場におけるドローンの操縦者は、ドローンの講習を受けた者の中から消防長が認めた消防職員としています。この日は講習を受けた3名が学科試験と実技試験を行いました。

☆ 3 月 1 4 日 親子ふれあい教室で救急講話（富士河口湖町こども未来創造館）



富士河口湖町こども未来創造館で開催された親子ふれあい教室において、河口湖消防署救急救命士による救急講話を実施しました。

☆ 3 月 1 5 日 FMふじやまでの広報活動



FM ふじやまでの広報活動第 11 回目。予防課の小俣司令補が火災調査についてお話ししました。

毎月第 3 金曜日の 13 時 10 分から 13 時 30 分頃に放送となります。

（当消防本部管内で災害等があった場合を除く）是非、お聞きください。

☆ 3 月 1 9 日 鉄道衝突脱線対応訓練



河口湖駅において、列車が踏切道で自動車と衝突し、列車の台車 1 軸が脱線したことを想定し、富士吉田警察署、富士山麓鉄道㈱、河口湖消防署との連携を図るため、実車を利用した対応訓練を行い、人命救助と 2 次災害による被害拡大防止を図り、緊急時に備えることを目的に訓練を行いました。

★3月21日・22日 富士五湖広域行政事務組合 事務局長 講話



富士五湖広域行政事務組合の事務局長より「地方公務員法研修」として法の体系・形式、職員の義務、懲戒処分・分限処分などの講話をしていただきました。

【消防署の仕事】



★一日消防署長の様子

全国では3月1日から7日まで「春の火災予防」が展開されています。火災が発生しやすい時季を迎え、火災の発生を防止することを目的として、令和4年度より、防火ポスターコンクールにおいて最優秀賞者となりました児童、生徒に一日消防署長を任命し、地域住民皆様の火災予防の思想を、より一層の普及を図りたいと考え一日消防署長をお願いすることとしています。



辞令交付式



署長点検



庁舎視察



119番通報に対する対応の体験



消防訓練の査閲



はしご車試乗



河口湖ショッピングセンターBELL
防火ポスター展の視察

一日消防署長として職員に指揮していただきながら、色々なスケジュールを体験していただきました。ご本人たちやご家族にも楽しんでいただき、開催してよかったと実感しています。来年も継続して開催していきますので小中学生の皆さん、防火ポスターコンクールで最優秀賞を目指して頑張ってくださいね。

★火災予防運動中に電光掲示板の表示協力をしていただきました



火災予防運動中に山梨県道路公社富士山有料道路管理事務所（スバルライン）と忍野村（四季の杜おしの公園付近・忍野村消防団第1分団詰所）に電光掲示板の表示協力をしていただきました。今後も表示協力を依頼いたします。火災予防のためにご協力をお願いいたします。



【富士五湖消防本部からのお願い】

【病院等の問い合わせについて】

ミライちゃんからのお願い！



富士五湖消防本部公式
マスコットキャラクター
『ミライちゃん』

緊急的な搬送が必要と判断した場合に
救急車を要請するときは

119

休日・夜間に病院をお探しのときは(富士北麓地域)
富士五湖消防本部(音声ガイダンス)

23-4444

急な病気やけがで病院に行くか迷ったときは
救急安心センターやまなし(救急電話相談)

#7119

119 番は緊急時のみです

病院の問い合わせ・相談
などはお控えください



【ゴミの分別について】

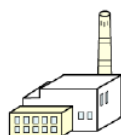
全国でごみ処理施設の火災が増加しています

ゴミの分別・処分方法にご注意ください

リチウムイオン電池やリチウムポリマーバッテリーによる火災増加

！身近な物に使われています！

携帯電話、デジタルカメラ、ノートパソコン、過熱式タバコ
電動歯ブラシ、電気シェイバー、ラジコン、おもちゃ、など



また、カセットボンベやガスハンドトーチバーナーの
使用法の誤り・処分方法による火災に注意してください！



ごみ処分に関してのお問い合わせは各市町村ホームページ、または各市町村役場までお願いします

【救急車のコンビニ等利用について】



救急隊のコンビニ等利用について

～救急隊員の飲食物購入に、ご理解、ご協力を心よりお願いいたします～

運用開始: 令和4年8月25日

利用店舗: 病院内売店、コンビニエンスストア等

現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大等の影響で救急出場件数が当本部管内においても増加しています。

救急件数の増加に伴い、救急隊が消防署に帰れなく、食事や水分補給をするのが難しい状況が多くなってきました。

このようなことから、救急要請という地域住民の皆さまのニーズに迅速、適切に対応し救急活動の質を維持するため、連続出場中の救急隊が、病院内売店、コンビニエンスストア、自動販売機等を利用させていただく際にご理解をお願いいたします。



※水分補給等をしている最中は上記貼紙を救急車内の見える場所に掲示いたします。

☆問い合わせ先☆
富士五湖消防本部 救急課
電話 0555-22-4430 (直通)

【口頭指導のご協力について】

口頭指導のご協力をお願いします



口頭指導は、危機的状況に陥った傷病者のそばに居合わせた人から情報を聴取し、状況に適した応急手当を指示して実行してもらうことにより救命効果の向上を図るために実施しています。

突然の状況で大変かと思いますが、指令センター職員へのご協力をお願いいたします。

【iPhone・Apple watch利用者の方へ】

消防本部からのお知らせ

iPhone、Apple Watch利用者の方へ

iPhone 14シリーズとApple Watch8/SE(2nd)/Ultraに搭載された**衝突検出**機能が、ジェットコースターや、アトラクション等による**衝撃**、スキーやスノーボードによる**転倒**、衝突の衝撃により**119番に自動で緊急通報**することがあります。



自動通報が作動した場合は、通話に応答して怪我の有無などを119番受付にお伝えください。

富士五湖消防本部

TEL 0555-22-0119

【住宅用火災警報器を設置しましょう】



平成 23 年から「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。富士五湖地域の設置(率)状況は 78%(令和 3 年度)です。

住宅火災による死者は、年間約 1,000 人にも上り、そのほとんどが**逃げ遅れ**によるものです。

安全な生活を送るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

【住宅用警報器を設置されている皆様にお願ひ】

定期的な点検をお願いするとともに、設置から **10 年経過**していましたら交換をお願いいたします。

※住宅用火災警報器の詳細内容は、富士五湖消防本部ホームページもしくは下記 QR コードからご覧ください。



住宅用火災警報器の詳細 QR コード

【富士五湖まちかど救急ステーションの募集】

富士五湖消防本部では、1 分 1 秒を争う住民の命を守るために「**富士五湖まちかど救急ステーション**」標章制度を運用し、コンビニや一般企業などの施設のご協力のもと普及をしています。

住民のために A E D によって救命できる体制へのご支援、ご協力をお願いいたします。

詳しい内容は、富士五湖消防本部 救急課 (0555-22-4430) までご連絡ください。



救急ステーション MAP QR コード

大事な命を守る！



緊急時には、富士五湖消防本部ホームページまたは C A T V 富士五湖データ放送 救急医療情報の富士五湖まちかど救急ステーション QR コードを活用して MAP をご覧ください。

【救急車の適正利用にご協力ください】



**救急車が
たりません!**

全国で救急車の
出動回数は

**5.1秒
に1回**

本当の救急?

救急車は年間約**619万件**も出動しています。
台数には限りがあります。本当に必要な人のために
救急車の適正利用にご協力をお願いいたします。

救急車の適正利用とは?
スマートフォンでアクセス
録画は対応の二次元コードを
読み取って救急車に到着後速に
サイトへアクセスしてください。

一般財団法人 全国消防協会



軽い症状でも救急車の利用する人が増えています。

当消防本部の救急車は6台です。近く消防署から救急車が出場している場合は、遠くからの救急車が出場することとなります。

事故による大けがの人や、心筋梗塞や脳卒中などで緊急に病院へ搬送しなければならない場合に遅れてしまいます。

急な病気やケガで迷ったときは 救急受診ガイドを見てね!

救急車を呼ぶか迷ったときは、
全国版救急受診アプリ「Q助」を
ご利用ください。
熱中症の項目もあります。



【消防隊が救急現場に行くことがあります】



PA 連携

救急現場で救急隊の補助や現場近くの救急隊が出場していて、別の救急隊よりも先行して現場に向かい応急手当(PA 連携: Pumper, Ambulance や RA 連携: Rescue, Ambulance)をする活動をしています。サイレン等でご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

【消防車等のサイレン音について】

指揮車、消防車、救助工作車、はしご車が緊急出場するときのサイレン音

火災出場するときは…

ウーガンガンガン ウーガンガンガン



火災以外で出場するときは…

ウー ウー



サイレンの音が聞こえたら、音で、どのような出場をしているか聞き分けていただけます。

サイレンは緊急車として道路を走行する場合は、①サイレンを鳴らす。②赤色の警告灯を点灯させる。ということが法律で定められています。(道路交通法第39条～41条の2、道路交通法施行令第13条、第14条)また、サイレンの音量も法律で定められています。救急車や消防車が赤信号でも一時停止をして安全を確認してから進み、ほかの車両を追い越して災害現場に急行することができるのも、2つの要件を満たしているからです。

私たち消防は地域の皆様の救命や苦痛の軽減、地域の安全安心を最優先に考えております。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【119 番の適正利用のお願い】

119 番通報の適正利用について



119 番は火災、救急車の要請時における緊急回線です。回線の数には限りがあります。病院の問い合わせや、間違いといった通報が全体の 16%にも及んでいます。

緊急でない内容の対応をしていたために、「**救急車が必要なのに電話が繋がらなかった。**」などという事がおこります。みなさんのご協力をお願いします。

※緊急時には迷わず 119 番通報を！！

【救急車が出発するまでのお願い】



救急隊は現場を出発するまでに、救急車を要請した状況や症状の確認、傷病者の観察・処置をした内容を病院へ連絡をしています。また、症状や観察の結果、病歴、掛かり付け病院、出勤場所の位置などを考慮して搬送先病院を選定します。病院への連絡は、救急隊だけでなく消防本部の指令センターと協力しながら行っています。

病院でもすべての症状に対応出来るわけではありません。救急隊は、病院の受入れ情報をもとに近隣の受入れ先を探しますが、特に夜間、休日などは救急診療に限られるため、病院がひっ迫している状況などにより、病院への依頼回数が多くなることで、現場への滞在時間が長引くことがあります。また、医師の判断によっては救急車ではなく、家族等により自家用車で来るよう指示がある場合があります。

限られた医療資源を守るためにも救急医療の適正利用にご協力をお願いします

【お知らせ】

【富士五湖消防本部情報発信サービス】



閲覧していただくとともに、
フォロー・登録等を
よろしくお願いいたします。



【富士五湖広域行政事務組合 広報「富士五湖」】

富士五湖広域行政事務組合広報

広域 富士五湖

富士五湖広域行政事務組合の広報誌は毎年2回(4月と10月)発行しています。
富士五湖広域行政事務組合ホームページで見ることができます。そちらも是非ご覧ください。

富士五湖広域行政事務組合ホームページ
<http://www.fujigoko-databank.jp/>



こちらをご覧ください。



【LINE スタンプ】

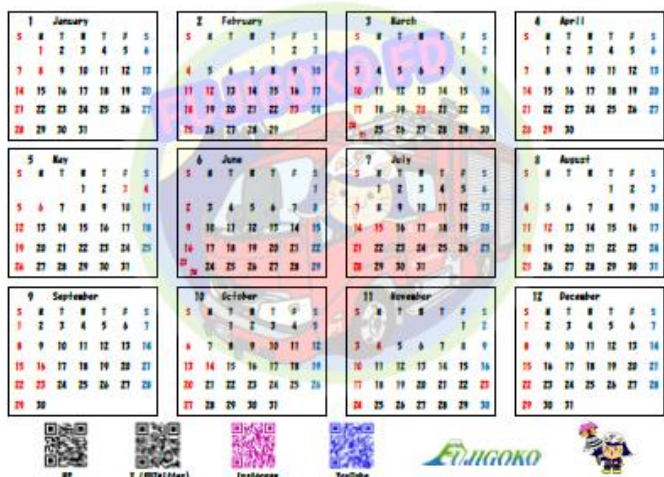


【富士五湖消防本部カレンダー2024】



当消防本部のカレンダーを作成しました。
ホームページにてダウンロードできます。
ぜひ、ご活用ください。

【富士五湖消防本部ホームページ QR コード】



【FM ふじやまでの広報活動】



毎月富士五湖消防本部の出場状況やイベントをFM ふじやまさんのご協力のもと、お知らせいたします。

毎月第3金曜日。13時00分頃からFM ふじやまラジオでの広報です。

☆消防に関する広報

- 1) 今月の火災原因、救助内容、救急内容
- 2) 火災、救助、救急の予防を促す
- 3) 消防の各種イベントのお知らせ
- 4) その他（消防署の仕事、消火器の説明、住宅火災用警報器の説明、初期消火の仕方、女性消防士の紹介、救急救命士の役割、普通救命講習会の開催、心肺蘇生法やAEDの取り扱い説明など）

【CATV 富士五湖での広報活動】

富士五湖消防本部からお知らせ

CATV 富士五湖で毎月、消防本部の
出場状況やイベント情報をお知らせします



富士五湖消防本部
管理課



毎月富士五湖消防本部の出場状況やイベントをCATV 富士五湖さんのご協力のもと、お知らせいたします。

毎週、日曜日 16時30分～・22時30分～
CATV 富士五湖の10ch「ミライちゃんからのお知らせ（富士五湖消防本部）」という番組で放映（約5分）。（まちの話題【11ch】でも不定期に放送）

☆消防に関する広報

- 1) 今月の火災・救助・救急件数
- 2) 今月の火災原因、救助内容、救急内容
- 3) 火災、救助、救急の予防を促す
- 4) 消防の各種イベントのお知らせ
- 5) その他（消防署の仕事、消火器の説明、住宅用火災警報器の説明、初期消火の仕方、女性消防士の紹介、救急救命士の役割、普通救命講習会の開催、心肺蘇生法やAEDの取り扱い説明など）

【CATV 富士五湖での広報活動】



令和6年能登半島地震の被災地へ緊急消防援助隊山梨県大隊として出場しました。

山梨県大隊としての活動の様子をYouTubeにて配信していますので、ご覧ください。

【YouTube QRコード】



【富士五湖消防本部の年間出場件数（令和6年3月25日現在）】



火災	11件
救急	1,208件
救助	27件



《速報値》

【富士五湖消防本部の年間出場件数（令和5年）】



火災	26件
救急	5,911件
救助	123件



《確定値》



第16号は2月、3月の行事、一日消防署長の様子、当消防本部の「お願い」と「お知らせ」をご紹介しました。
第17号（4月、5月）も富士五湖消防本部の行事を中心に、盛りだくさんでお伝えします。お楽しみに。

広報室長



富士五湖消防本部

情報発信サービス一覧

<https://www.mfi.or.jp/~fg-kanika/>



<https://twitter.com/FujigokoFD>

https://www.instagram.com/fujigokofd_119/



<https://www.youtube.com/@fujigoko.FD>